

令和4年度 学校だより



令和5年 2月 8日 (水)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 2月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka

花いっぱい 自分 友だち 御一小

雪山の謎をさぐる。

校舎から見える南アルプスの雪山が、抜けるような青空に映えています。その下で、寒さに負けず元気いっぱいに活動する子どもたちの声が聞こえてきます。



第一小の窓から見えるあの山は何という山だろう。そう思ったことはありませんか？地図や方角から、南アルプスの山で第一小のほぼ真北にある山を調べてみると山容がぴったりしたものがありました。聖岳(ひじりだけ)です。



左 第一小の3階からの写真(拡大) 右 大無間山からみた聖岳と上河内岳(インターネット)

大無間山は、第一小と聖岳のちょうど間に位置します。聖岳は、静岡県と長野県の境に位置し、高さ3013m、日本百名山の一つに数えられます。直線距離で第一小から約85km離れています。(ちなみに富士山とは約96km)くわしい情報をお知りの方は教えてください。

今、各教室の廊下には、「新年の誓い」や「今年がんばりたいこと」が、掲示されています。子どもらしい夢だったり、自分を振り返り反省したことだったり、その子の思いや普段の生活、周りの様子までが推察され、とても微笑ましく感じます。また、すべての子どもが自分を伸ばしたいと思い、頑張ろうという意欲を持っていることをしっかりと受け止め、力をのばしてやれるような教育環境をより整えなければならぬと、身の引き締まる思いになりました。

5年1組の河原崎希さんは、校庭に発生するイシクラゲを不思議に思い、どんな生き物なのか、発生しやすい条件や苦手な環境などを丁寧に実験で調べ追求しています。その研究「校庭のイシクラゲをなくすには」が静岡県の優れた理科研究に認められ、「山崎賞」の受賞が決まりました。おめでとうございます。興味関心を持ったことを、とことん調べてみるってとても素晴らしいことですね。

第一小の子どもたちは「自分からノート」で自分の興味関心のある学習に取り組んでいます。応援をお願いします。

